



参加者ら＝伊勢市黒瀬町の市生涯学習センターいせトピアで、テントや仮設トイレなど防災資機材の設置訓練をする

# 防災資機材の設置訓練

## 伊勢 浜郷地区まちづくり協

【伊勢】大地震などの災害に備え、伊勢市の浜郷地区の住民組織「浜郷地区まちづくり協議会」は十七日、地区の避難場所となる市生涯学習センターいせトピアで、防災資機材の設置訓練をした。

協議会では防災力強化を目指し、平成二十五年から、危険箇所調査や津波に備えた高台避難訓練、避難所運営マニュアルの作成など防災への取り組みを続けている。

この日の訓練は、今年度新たに購入したテントや発電機などの防災資機材を使って実施。協議会防災委員と同地区の黒瀬町、通町、一色町、田尻町、中崎の五自治会の代表者ら約三十人が参加した。車イス対応型

の仮設トイレ、要援護者の移動や物資搬送に使う折り畳みリヤカー、大型テントなどを組み立て、使用方法を確認しながら設置した。

協議会防災委員会の西井文平委員長(左)は「海に近い地区も多く、大地震が起きたら津波被害が心配される。熊本地震の復旧が続く中、地域の防災意識を高め、行政に頼らず住民主体の対策を進めたい」と話していた。

# まち

## お知らせ

◇伊勢市で「上映会」  
21日午後2時から、小俣図書館2階視聴覚室。「日本の昔ばなし2 浦島太郎ほか」(アニメ、69分)。問い合わせは同図書館 ☎0596(29)3900。

◇南伊勢町で「三重県内男女共同参画連携映画祭2

伊勢・大規模災害備え 南海トラフ巨大地震

訓練で避難所用のテントを組み立てる参加者ら。伊勢市黒瀬町の市生涯学習センターで。



住民組織が防災資機材設置訓練

伊勢・大規模災害備え 南海トラフ巨大地震  
などの大規模災害に備え、伊勢市の住民組織「浜郷地区まちづくり協議会」は、同市黒瀬町の市生涯学習センター

で、防災資機材の設置訓練をした。

浜郷地区は住民約5200人で、同センターが避難場所となっている。協議会は今年度災害時に使うテント、仮設トイレ、折りたたみ式リヤカー、発電機、メガホンを購入。住民自ら資機材を活用し、円滑に避難所を運営できるようにするため、訓練を企画した。防災リーダーら約30人が参加し、実際にテントやトイレを組み立てて使い方を学んだ。

同協議会の西井文平防災総合委員長は「地域で助け合う共助が重要。自分たちでできることに取り組みたい」と話した。

【新井敦】